

シラスの同級生

体の外側に、かたいからのあるエビやカニは、^{だっぴ}脱皮を重ねて成長しています。

卵から生まれたばかりのエビやカニの子どもは、親とは別の形をしています。

もりぐち みつる
盛口 満

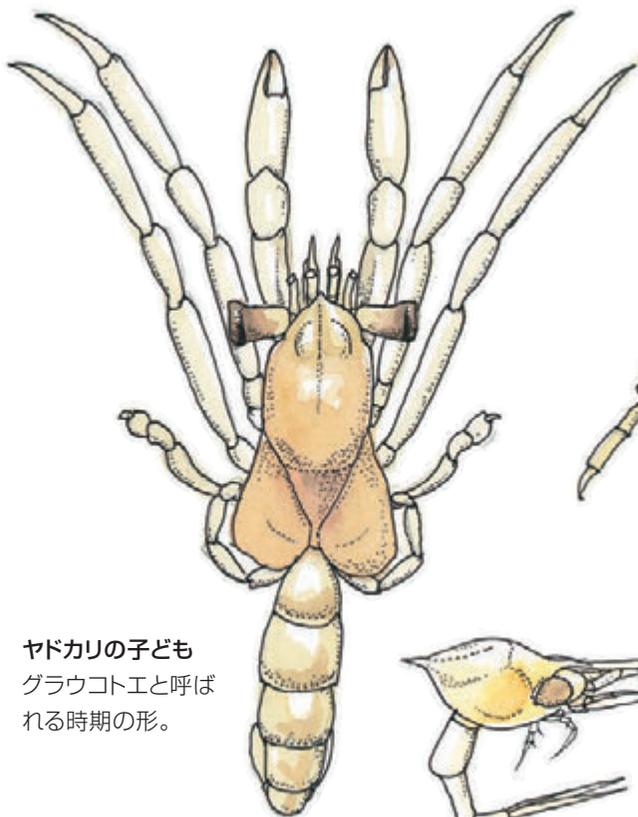
沖縄大学学長
通称、
ゲッチョ先生

×7

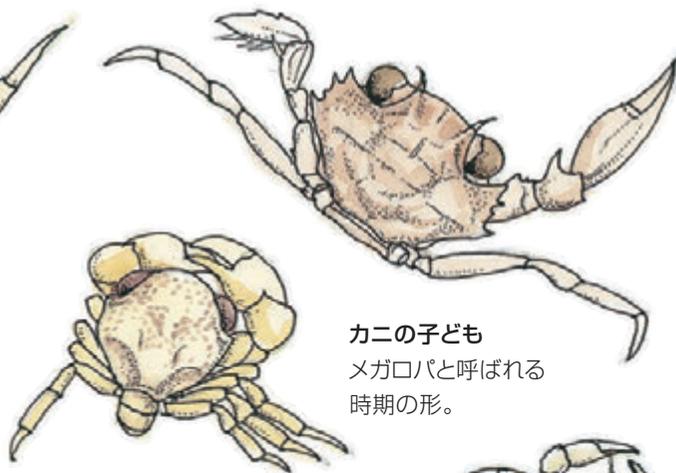


食用になるシラス
(カタクチイワシの子ども)

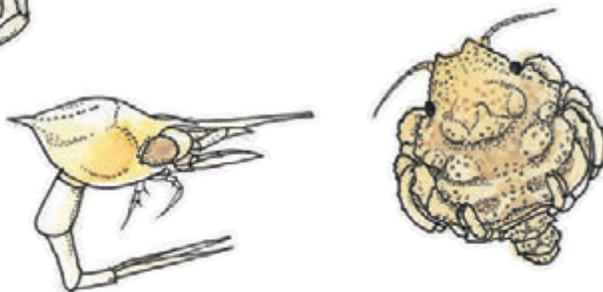
カニの子ども
ゾエアと呼ばれる
時期の形。



ヤドカリの子ども
グラウコトエと呼ば
れる時期の形。



カニの子ども
メガロパと呼ばれる
時期の形。



ヤドカリの子ども
ゾエアと呼ばれる
時期の形。



フンドシはまだ
折りたたまれて
いない。

エビやカニの子どもや魚の子どもは、一時みんな水中をただよって生活する生きもの（プランクトン）です。シラスといっしょに採れたさまざまな子どもたちを見てみましょう。

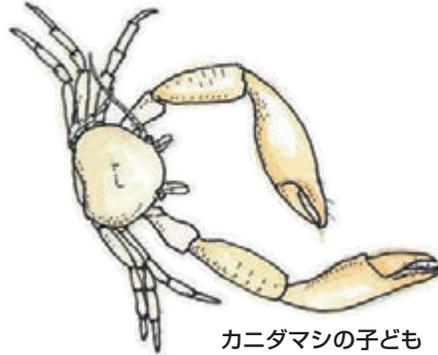
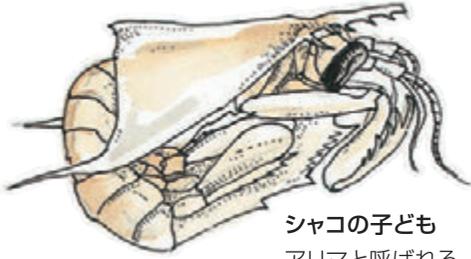
クチキレウキガイ
プランクトンで一
生を送る小さな貝。



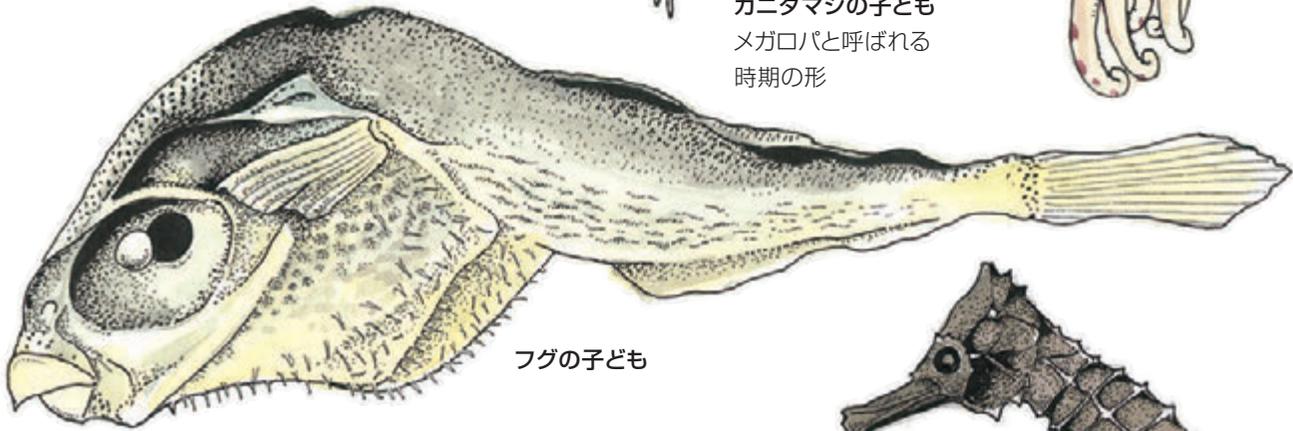
イカの子ども



シャコの子
アリマと呼ば
れる時期の形



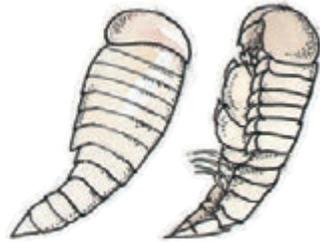
カニダマシの子
メガロバと呼ば
れる時期の形



フグの子



タツノオトシゴの子



ウミノミの仲
プランクトンで一
生を送る
小さな生きもの。

アミの仲



食べ物で見た進化のふしぎ
ゲッチョ先生の食べ物コレクション
盛口 満・文・絵 少年写真新聞社：発行
B5判64ページ 1800円+税

食卓に並ぶ、肉や魚、野菜や果物にキノコたち……。どれもみんな生きものです。この食べ物から、40億年といわれる生命の歴史の中で、いろいろな姿に変わってきた生きものの進化のふしぎを探っていきます。



少年写真新聞社発行の「ゲッチョ先生の自然誌コレクション」シリーズ『食べ物で見た進化のふしぎ』から一部を転載して、ご紹介しています。このページの教育用コピー配布もご了解いただいていますので（商用利用不可）、自然観察にご活用ください！